

荒川洋治展



荒川洋治の詩を
戸田正寿が美術にする。

三国で生まれた日本を代表する現代詩作家荒川洋治が、

初めて郷里のために、新作「三国古詩」六篇を書き下ろした。

その紡ぎ出された美しいことばを、これもまた荒川洋治と

同窓のアーティストディレクター戸田正寿が、

インスタレーションで視覚化する。

新しいこころみによって、ことばの息づかいの静動のなかに、

敬愛する先達の面影と懐かしい風景が眼前に現われ、

いとおしい未来へつなぐあたたかい過去を見ることが出来る。

私たちが、見たかったもの、見たほうがいいもの、

見なければならぬものを、見せてくれる。

荒川洋治の、強い、鋭い、やさしいまなざし。

ことばたちは、この美術館で、絵画になる。

Installation
戸田正寿

©2008年3月1日(土)～6月29日(日) 午前10時～午後4時(3月～11月の金・土・日曜日及び祝祭日)

©入館料300円(高校生以下無料)

ONO
MEMORIAL
BLUE CAKE